



議員でつくる広報誌

むかわ議会だより



2P～9月定例会

6P～第5回臨時会、議会広報研修会

7P～ここが聞きたい！6人の議員が一般質問

14P～議会報告会

16P～委員会報告

No.51

2019.10.31 発行



むかわ町議会

責任者

〒054- 8660 北海道勇払郡むかわ町美幸 2 丁目88番地



議会広報委員会

□

0145-42-2486 FAX 0145-42-4994

第3回議会定例会

令和元年第3回議会定例会は、9月10日から11日まで、2日間の会期で開催されました。町長からの行政報告4件、6議員による一般質問のほか、報告2件、認定7件、同意1件、議案16件、意見書5件などの審議を行い、可決しました。

【報】告

用料3人への徴収の努力はどうなっています。

●放棄した債権について

(合計額129万8,847円)

児童クラブ利用料

1,000円

公営住宅使用料

48万5,770円

穂星寮使用料

55万5,000円

国保直診勘定診療収入

2,000円

国保直診勘定診療外収入

1万4,355円

水道料金 24万722円

答 平成22年入寮生です。

3か月末納で、納付依頼、督促状を送っていますが、

問 佐藤議員 町民は震災で、健全化比率がどうなるのか心配していますが。

今年度の健全化比率や経

答 平成22年入寮生です。

3か月末納で、納付依頼、督促状を送っていますが、

問 佐藤議員 町民は震災で、健全化比率がどうなるのか心配していますが。

今年度の健全化比率や経

問 野田議員 穂星寮使用料の消滅時効完成の2人は、いつの入寮ですか。

現在は入居していません。

居所不明のためです。

問 大松議員 将来負担比率が0%から5.8%に引き上げますか。

答 金額的にはいくらになりますか。

平成30年度 町健全化判断比率について

区分	健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	14.82%	20.0%
連結実質赤字比率	—	19.82%	30.0%
実質公債費比率	9.0%	25.0%	35.0%
将来負担比率	5.8%	350.0%	—

答 5.8%は、2億4,000万円ほどになります。

数字はプラスになります。たが、今すぐ危険な財政状況になるとは判断していません。

財政調整基金の見通しは、数字はプラスになります。たが、今すぐ危険な財政状況になるとは判断していません。

数字はプラスになります。たが、今すぐ危険な財政状況になるとは判断していません。



特別参加の高校球児（町民運動会）

問 北村議員 ①一般会計6会計決算について、特別委員会を設置付託

答 ①財政調整基金の積み立てが出来ることで数値の改善につながると考えています。

②特別交付税は、4億円で、例年より多く交付されると見込んでいます。

最終的には平成30年度末までの額に戻せると考えてあります。

③そのほか特別交付税が増えたことで基金の取り崩しが相当を、新規の基金、胆振東部地震対策基金に3億円余りを積み上げています。

この基金は今後の復興の中で活用する考えです。

常収支比率などの見通しについての考えは。

財政調整基金の見通しは、数字はプラスになります。たが、今すぐ危険な財政状況になるとは判断していません。

財政調整基金の見通しは、数字はプラスになります。たが、今すぐ危険な財政状況になるとは判断していません。

答 ①財政調整基金の積み立てが出来ることで数値の改善につながると考えています。

②特別交付税は、4億円で、例年より多く交付されると見込んでいます。

最終的には平成30年度末までの額に戻せると考えてあります。

③そのほか特別交付税が増えたことで基金の取り崩しが相当を、新規の基金、胆振東部地震対策基金に3億円余りを積み上げています。

この基金は今後の復興の中で活用する考えです。

問

山崎議員

公営住宅使

問

山崎議員

公営住宅使

問

野田議員

穂星寮使

問

大松議員

将来負担比

問

北村議員

①一般会計

問

佐藤議員

町民は震災

問

山崎議員

公営住宅使

問

野田議員

穂星寮使

問

大松議員

将来負担比

問

北村議員

①一般会計

問

佐藤議員

町民は震災

問

山崎議員

公営住宅使

問

野田議員

穂星寮使

問

大松議員

将来負担比

問

北村議員

①一般会計

問

佐藤議員

町民は震災

問

山崎議員

公営住宅使

問

野田議員

穂星寮使

問

大松議員

将来負担比

問

北村議員

①一般会計

問

佐藤議員

町民は震災

問

山崎議員

公営住宅使

問

野田議員

穂星寮使

問

大松議員

将来負担比

問

北村議員

①一般会計

問

佐藤議員

町民は震災

問

山崎議員

公営住宅使

問

野田議員

穂星寮使

問

大松議員

将来負担比

問

北村議員

①一般会計

問

佐藤議員

町民は震災

問

山崎議員

公営住宅使

問

野田議員

穂星寮使

問

大松議員

将来負担比

問

北村議員

①一般会計

問

佐藤議員

町民は震災

問

山崎議員

公営住宅使

問

野田議員

穂星寮使

問

大松議員

将来負担比

問

北村議員

①一般会計

問

佐藤議員

町民は震災

問

山崎議員

公営住宅使

問

野田議員

穂星寮使

問

大松議員

将来負担比

問

北村議員

①一般会計

問

佐藤議員

町民は震災

問

山崎議員

公営住宅使

問

野田議員

穂星寮使

問

大松議員

将来負担比

問

北村議員

①一般会計

問

佐藤議員

町民は震災

問

山崎議員

公営住宅使

問

野田議員

穂星寮使

問

大松議員

将来負担比

問

北村議員

①一般会計

問

佐藤議員

町民は震災

問

山崎議員

公営住宅使

問

野田議員

穂星寮使

問

大松議員

将来負担比

問

北村議員

①一般会計

問

佐藤議員

町民は震災

問

山崎議員

公営住宅使

問

野田議員

穂星寮使

問

大松議員

将来負担比

問

北村議員

①一般会計

問

佐藤議員

町民は震災

問

山崎議員

公営住宅使

問

野田議員

穂星寮使

問

大松議員

将来負担比

問

北村議員

①一般会計

問

佐藤議員

町民は震災

問

山崎議員

公営住宅使

問

野田議員

穂星寮使

問

大松議員

将来負担比

問

北村議員

①一般会計

問

佐藤議員

実質赤字を一般会計から補填する状況が続いている。医療機関を守るための努力が必要と考えますが。

答

穂別診療所と厚生病院で、4億円余りの町費を持ち出す状況が続いている。これを未来永劫続けていくことは難しいと考えています。

(同 意)

●教育委員会の教育長の任命

むかわ町田浦201番地12

長谷川 孝雄 氏

[議案審議]**●工事請負契約について**

①仁和地区戸村の沢排水路整備工事 5,292万円
(契約者・株山越組)

②普通河川オサネップ川災害復旧工事その1
8,586万円
(契約者・門脇建設株むかわ本店)

③普通河川オサネップ川災害復旧工事その2
1億3,176万円
(契約者・相互建設株)

●印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正
※住民票の記載事項に旧氏が認められたことによる改正。

●町税条例の一部改正

○町民税
○個人の住民税の非課税の範囲を拡大。

●単身児童扶養者の非課税措置の対象へ追加する。

○町民税の申告書記載事項の簡素化など。

●軽自動車税の環境性能割の非課税とする臨時的軽減の規定の新設など。

●軽自動車税の環境性能割の非課税とする臨時的軽減の規定の新設など。

●災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

※災害援護資金償還金の支払い猶予、償還免除の範囲拡大など。

●3歳児以上の利用料を、利用実態に応じ、月額11,300円までの範囲で無償化。

●特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定めた条例の一部改正

※子ども・子育て支援法施行規則の改正に伴う一部改正。

●0～2歳児の利用料、住民税非課税世帯を対象に無償化。

●幼稚園の預かり保育について、利用実態に応じ、月額11,300円までの範囲で無償化。

●3歳以上児月額利用料5,000円から0円に改めて無償化。

●認可外保育施設等の認可外保育施設等

●0～2歳児の利用料を、月額42,000円までの範囲で無償化。

●靈園の設置及び管理に関する条例の一部改正

※共同墓の利用を開始するため、許可や使用料などの規定を整備。

●埋葬方式、利用の対象、使用料などについて規定。

●地域保育所設置条例の一部改正

※子ども・子育て支援法の一部改正に伴う改正。

●3歳以上児の利用料を無償化。



●令和元年度一般会計補正予算（第3号）

1億4597万700円を増額し、105億416万6,000円とする。

※補正の主なもの

（北海道鉄道利用促進環境 整備負担金・JR支援金）

問 **三上議員** 自治体が負担する、JR北海道への支援金ですが、金額の根拠はまた、国への新たな対策を求める考え方は。

答 道内の維持困難線区は8線区です。2億円のうち北海道は1億4,000万円の負担。残りの6,000万円を、8線区で負担します。

2年間の緊急措置と受け止めています。

1市4町で足並みを揃え国への支援を求める考えです。

くことになりますが、その
金額は。

また、待機児童の実態は

答 町の財源は減額される
ところが出てきますが、金
額はまだ出していません。

入園の相談は受けています。

答 末広団地18戸、文京ハイツ12戸の計30戸を建設します。

卷之三

卷之六

A large roll of patterned wallpaper or fabric with a wood-grain texture.

おひる

100

A black and white photograph showing a close-up of a person's feet wearing dark slippers. The person is standing on a polished, reflective floor that shows some faint markings or reflections. The perspective is from a low angle, looking down at the feet.



ました

文京ハイツの財源は国庫補助金で、3分の2程度の4億3,000万円。

公営住宅補助金は2分の
1程度で、5億5,000
万円。

高校生徒寮は起債で、総額3億円程度です。

プロポーザル方式で民間活力を利用して、出来るだけ安価にと考えています。工期は12月までの完成に努めます。

問 山崎議員 高校生徒寮は、将来転用の考えはありますか。

答 今後も野球部中心の春
と考えています。
研修室も設け、地域コ
ミュニティとして活用し、
合宿機能も持たせた活用を
考えています。

問

佐藤議員 鶴川地区で

改修して利用できる公営住宅、低家賃で入る住宅改修はないのですか。

課題にしています。

古い公住を何戸使えるか

はまだおさえていません。

●下水道事業会計補正予算（第2号）

不採択となつた意見書

●市町村への「プラスごみ対策押し付け」を止め、

ごみを出さないシステムを増額する。

答

民間の力も借りながら、はとふる事業の中で研究をしていきます。

公営住宅の活用についても検討していく考えです。

問

大松議員

仮設住宅に入居している方が公営住宅や文京ハイツに入居する場合の家賃はどのようにま

りますか。

生活困窮者の方は、安価な公営住宅を待っています。空いている公住を改修して、住宅を提供する姿勢を早急に見せるべきでは。

●後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

87万2,000円を増額し、1億4,894万7,000円とする。

問

介護保険特別会計補正予算（第2号）

1,945万6,000円を増額し、9億2,668万4,000円とする。

●JR北海道が単独では維持することが困難な線区の維持・存続を求める意見書

提出者 野田議員

意見書

●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

答

新しい住宅は家賃がこれまでよりも高くなります。早い段階で家賃の説明をしたいと考えます。

ペツトについては、検討

算（第2号）建設改良費594万円を増額する。

●上水道事業会計補正予算（第2号）

提出者 北村議員

意見書

答

新しい住宅は家賃がこれまでよりも高くなります。

早い段階で家賃の説明をしたいと考えます。

【意見書】 採択された意見書

【反対討論】 山崎議員 趣旨説明は全く

その通りだと思いますが、地

方にごみを燃やさせることはまだ決まっていないことから反対とします。

【賛成討論】 舞良議員 ゴミは国際問題になつています。

これから地球環境に影響する大きな課題は国が責任を持つべきと考えます。

高齢者の切実な声を国に挙げていくことは大切と考えています。

財源も意見書では示しています。

【賛成討論】 大松議員 マクロ経済スライドを続けると、基礎年金が3割低下すると厚労省も認めています。

高齢者の切実な声を国に挙げていくことは大切と考えています。

り、マクロ経済スライドに代わる対策が具体的に出せない限り反対です。

●「新たな過疎対策法の制定」に関する意見書

●JR北海道が単独では維持することが困難な線区の維持・存続を求める意見書

提出者 野田議員

意見書

●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

【反対討論】 東議員 保険者が少なくな

り、マクロ経済スライドに代わる対策が具体的に出せない限り反対です。

●「減らない年金」の実現を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

●マクロ経済スライドの廃止で「減らない年金」の実現を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

●下水道事業会計補正予算（第2号）

提出者 大松議員

意見書

●市町村への「プラスごみ対策押し付け」を止め、

提出者 大松議員

意見書

●「新たな過疎対策法の制定」に関する意見書

提出者 野田議員

意見書

●JR北海道が単独では維持することが困難な線区の維持・存続を求める意見書

提出者 野田議員

意見書

●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

●マクロ経済スライドの廃止で「減らない年金」の実現を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

●下水道事業会計補正予算（第2号）

提出者 大松議員

意見書

●市町村への「プラスごみ対策押し付け」を止め、

提出者 大松議員

意見書

●「新たな過疎対策法の制定」に関する意見書

提出者 野田議員

意見書

●JR北海道が単独では維持することが困難な線区の維持・存続を求める意見書

提出者 野田議員

意見書

●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

●マクロ経済スライドの廃止で「減らない年金」の実現を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

●下水道事業会計補正予算（第2号）

提出者 大松議員

意見書

●市町村への「プラスごみ対策押し付け」を止め、

提出者 大松議員

意見書

●「新たな過疎対策法の制定」に関する意見書

提出者 野田議員

意見書

●JR北海道が単独では維持することが困難な線区の維持・存続を求める意見書

提出者 野田議員

意見書

●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

●マクロ経済スライドの廃止で「減らない年金」の実現を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

●下水道事業会計補正予算（第2号）

提出者 大松議員

意見書

●市町村への「プラスごみ対策押し付け」を止め、

提出者 大松議員

意見書

●「新たな過疎対策法の制定」に関する意見書

提出者 野田議員

意見書

●JR北海道が単独では維持することが困難な線区の維持・存続を求める意見書

提出者 野田議員

意見書

●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

●マクロ経済スライドの廃止で「減らない年金」の実現を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

●下水道事業会計補正予算（第2号）

提出者 大松議員

意見書

●市町村への「プラスごみ対策押し付け」を止め、

提出者 大松議員

意見書

●「新たな過疎対策法の制定」に関する意見書

提出者 野田議員

意見書

●JR北海道が単独では維持することが困難な線区の維持・存続を求める意見書

提出者 野田議員

意見書

●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

●マクロ経済スライドの廃止で「減らない年金」の実現を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

●下水道事業会計補正予算（第2号）

提出者 大松議員

意見書

●市町村への「プラスごみ対策押し付け」を止め、

提出者 大松議員

意見書

●「新たな過疎対策法の制定」に関する意見書

提出者 野田議員

意見書

●JR北海道が単独では維持することが困難な線区の維持・存続を求める意見書

提出者 野田議員

意見書

●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

●マクロ経済スライドの廃止で「減らない年金」の実現を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

●下水道事業会計補正予算（第2号）

提出者 大松議員

意見書

●市町村への「プラスごみ対策押し付け」を止め、

提出者 大松議員

意見書

●「新たな過疎対策法の制定」に関する意見書

提出者 野田議員

意見書

●JR北海道が単独では維持することが困難な線区の維持・存続を求める意見書

提出者 野田議員

意見書

●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

●マクロ経済スライドの廃止で「減らない年金」の実現を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

●下水道事業会計補正予算（第2号）

提出者 大松議員

意見書

●市町村への「プラスごみ対策押し付け」を止め、

提出者 大松議員

意見書

●「新たな過疎対策法の制定」に関する意見書

提出者 野田議員

意見書

●JR北海道が単独では維持することが困難な線区の維持・存続を求める意見書

提出者 野田議員

意見書

●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

●マクロ経済スライドの廃止で「減らない年金」の実現を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

●下水道事業会計補正予算（第2号）

提出者 大松議員

意見書

●市町村への「プラスごみ対策押し付け」を止め、

提出者 大松議員

意見書

●「新たな過疎対策法の制定」に関する意見書

提出者 野田議員

意見書

●JR北海道が単独では維持することが困難な線区の維持・存続を求める意見書

提出者 野田議員

意見書

●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

●マクロ経済スライドの廃止で「減らない年金」の実現を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

●下水道事業会計補正予算（第2号）

提出者 大松議員

意見書

●市町村への「プラスごみ対策押し付け」を止め、

提出者 大松議員

意見書

●「新たな過疎対策法の制定」に関する意見書

提出者 野田議員

意見書

●JR北海道が単独では維持することが困難な線区の維持・存続を求める意見書

提出者 野田議員

意見書

●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

●マクロ経済スライドの廃止で「減らない年金」の実現を求める意見書

提出者 北村議員

意見書

●下水道事業会計補正予算（第2号）

提出者 大松議員

意見書

●市町村への「プラスごみ対策押し付け」を止め、

提出者 大松議員

意見書

●「新たな過疎対策法の制定」に関する意見書

提出者 野田議員

意見書

●JR北海道が単独では維持することが困難な線区の維持・存続を求める意見書

提出者 野田議員

意見書

●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

令和元年第5回 議会臨時会

(7月29日開催)

報告1件、議案5件を可
決しました。

【報 告】

◆平成30年度上水道事業
会計繰越明許費繰越計算
書一部訂正の件。

支払義務発生額710

万円を減額し、翌年繰越
額を3、150万円とする。

【議 案】

【反対意見】

◆工事請負契約の締結に
関する件

鶴川高校生徒寮解体工事

契約金額 6,048万円

(契約者・相互建設株)

◆工事請負契約の締結に
関する件

普通河川似湾川災害復旧工事

普通河川1号沢川災害復
旧工事

契約金額 7,117万円
(契約者・㈱福田組)

- 賛成多数で原案可決
- ◆一般会計補正予算
- ふるさと納税型恐竜レプ

リカ製作事業
1,585万円

◆工事請負契約の締結に
関する件

普通河川似湾川災害復旧工事

契約金額 5,594万円
(契約者・㈱遠藤組)

◆工事請負契約の締結に
関する件

町民体育館災害復旧工事

契約金額 1億5,250
万円

(契約者・㈱小金沢組)

●河川災害復旧事業
1億8,615万円
3億2,400万円

○繰越明許費補正
災害復旧事業実施に当た
り、今後発注する工事の竣
工が次年度となるため。

●道路橋りょう災害復旧事
業

1億8,615万円

●河川災害復旧事業
1億5,250
3億2,400万円

令和元年度北海道町村議
会広報研修会が8月20日、
札幌市で行われました。
月刊総務編集長、豊田健
一氏の「読者目線で親切な
広報誌を作るには」手に取
られ・読まれ・行動に結び
つけるには」の講演を受
講しました。

広報委員7名と事務局3
名が出席しました。
町民目線で読まれ、住民
とのパイプ役になり、議会
広報誌を作っていくかを学
び、今後行動に移していく
たいと思いました。

令和元年9月24日・25日
の両日、全国町村議会広報
研修会が東京都で開催され
ました。全国176町村議
会が参加、本町議会より、
東議員、舞良議員が受講し
てきました。



全道議会 広報研修会



全國議会 広報研修会

毎年開催される研修会で
すが、昨年は震災のため、
参加を見送ったので新任両
議員は初参加となりました。
多くの町民に読まれる議
会広報誌作りに役立ててま
いります。

むかわ町の ことこが聞きたい

9月定例会では、6人の議員が13件の一般質問を行い、活発な質疑を展開しました。

質問と答弁を要約した内容は、8ページから13ページです。

(※紙面の都合上、掲載していない質問項目もあります。)

11ページ

東 千吉 議員

- 学校及び公共施設の暑さ対策は
- 率先垂範とトップセールスで特色ある具体策を
- 被災木の活用と林業支援を

8ページ

野田省一 議員

- 人口減少対策はPR不足では
- 介護従事者確保を
- まちなか活性化を

12ページ

舞良喜久 議員

- 墓じまい・修理の支援を
- 自動車免許証の返納に支援を

9ページ

大松紀美子 議員

- 被災者の医療費、減免継続を
- 専門学校生への「奨学金給付」の再開を

13ページ

北村 修 議員

- 「この町で暮らしたい」の願いに応える町の復興を

10ページ

中島 勲 議員

- 地震災害復旧、復興の方策は
- 恐竜発掘とその後の経過は

人口減少対策はPR不足では

横断的な体制で



のだ
野田 しょいち
省一 議員

NODA SHOICHI

まちなか活性化を

提案素材をもとに仮称・地域まちなか再生戦略会議で議論します。

両地区にある地域資源を見直し再編し、まちなか再生等の議論を通して、もう一度、町の特徴と課題を理解し合い地域の活性化に展開をしたいと考えています。

情報が得やすいホームページ作成に努めます。
従事予定者に就労で免除の奨学金制度、移住時の特別支援金制度、住宅の特別支援制度などを創設して、

- 博物館建設予定地を震災によりできた中心市街地の空き地に計画を見直すこと。

●中心市街地のJJA店舗跡地に集約型複合施設の建設を計画すること。

この提案に対して町長の見解は。

答 震災という状況が付加の支援制度はあります、利用者は少ない状況です。

各事業所が努力工夫していますので、町として支援も検討していきます。

また、介護従事者確保に向けた対策を地域ケア推進会議等で事業所と協議を継続していきます。

また、今年中に全世帯を対象に町民の皆さんへアンケートを実施する予定です。この町民の意見、今回の

問 人口減少対策の好事例町村と本町を比較すると、事業内容に大差は無いが、子育て・定住・雇用・居住支援と整理一覧された町のホームページに大差があります。

答 まだ内容等不十分な部分もあり、横串横断的な体制の中で、今後も充実させ、ネット情報で魅力を伝える情報が伝わるよう発信に努めます。

答 移住・定住に関してはホームページが入り口になつていると認識しています。

介護従事者確保を

問 介護従事者の不足は事業者の自助努力では貳えないと認識しています。



まつりだ！まつりだ！

被災者の医療費、減免継続を

継続はできません

問 胆振東部地震から一年が経ちました。

今、復興へ向けて大事なことは、政治や行政の姿勢です。

一年という時間の経過とともに、被災者の要求や、将来の暮らしへの考えも変わっています。

できる限り元の暮らしに戻れるようにするのか、制度の壁を理由にあきらめるなどを強いるのか、政治の姿勢が問われています。

①住宅が半壊以上の被害を受けた被災者の医療費窓口負担の免除措置（無料）が8月31日で打ち切られました。

免除措置の継続をする考えは。

②2月21日に発生した余震

で新たな被害が生まれています。住宅や倉庫の被害について、再調査の考えは。

また、罹災証明書の申請受付を再開する考えは。

答 ①免除措置期間は被災3町で統一した条件で進めてきました。

当初は9月6日から12月末まででしたが、その後8月末まで延長してきました。

措置の変更があり、北海道後期高齢者医療連合も行わ

問 国の制度で判断するのではなく、実際に町民の暮らしがどのようになっているか、実態を調べ、対応すべきではないか。町長は、被災者がこれからも安心してこの町で暮らせるようになると表明していますが。

罹災証明書の再受付も行いません。

問 国の制度で判断するのではなく、実際に町民の暮らしがどのようになっているか、実態を調べ、対応すべきではないか。

町長は、被災者がこれからも安心してこの町で暮らせるようになると表明していますが。

問 「専門学校生への「奨学金給付」の再開を行います

問 「専門学校生への給付は、「高校振興対策」としてこれまでと同じく、継続する

答えです。

ないことから、国民健康保険医療も延長しないこととしました。

別の相談には随時向き合つて行きます。

住宅再建や生活支援などは歯がゆく思っています。

今後も、仮設住宅の入居期限の延長など、道や国への要望を続けたいと考えます。

専門学校は卒業後すぐに国の制度要件に満たない点は歯がゆく思っています。

専門学校は卒業後すぐに学び幅広い教養を身に着ける場所です。

プロとして働けるよう特定の技能を磨く場所であることをから給付事業の見直しを図りました。



おおまつ きみこ
大松紀美子 議員

OHMATSU KIMIKO



美しい音色

地震災害復旧、復興の方策は

復興計画を着実に推進



なかじま
中島 いさお
勲 議員

NAKAJIMA ISAO

恐竜発掘とその後の経過は

穂別地区の復旧、復興は、一次産業、二次産業とともに「恐竜のふるさと」として新しい観光要素を取り入れ観光産業として全国展開し、地域振興を図ることが可能であると考えます。この問題をどのようにとらえていますか。

問 穂別地区の復旧、復興は、一次産業、二次産業とともに「恐竜のふるさと」

として新しい観光要素を取り入れ観光産業として全国展開し、地域振興を図ることが可能であると考えます。この問題をどのようにとらえていますか。



カムイサウルス ジャボニクス

問 クリーニングされない恐竜化石の保存、盗難防止対策はどうなっていますか。

答 一次産業プラス商工観光については国が進めている地方創生の延長として、むかわ町がこれから立ち上げる地域商社を中心に今ある資源の魅力を再発見しながら発信していくと考

問 「むかわ竜」の発掘場所は北海道の所有地ですが、発掘現場保存にどのような対策を講じていますか。

答 北海道と土地の賃貸契約を締結し、年間3,000円を支払い、土砂崩落防止などの安全対策を行っています。

問 東京国立科学博物館で展示されている「むかわ竜」の学会評価あるいは国際的評価をむかわ町としてどのように受け止めていますか。

答 博物館の収蔵庫に整理し保管しています。収蔵庫は常に施錠し、夜間及び休日は機械警備を導入しています。

問 「むかわ竜」関連に投じた総額はいくらですか。

答 平成25年度以降の恐竜のハード事業、むかわ町恐竜ワールドセンターへの活動支援等のソフト事業を含めた総支出額は1億8,800万円です。

金は総支出の43%に該当する8,100万円です。

※ロイヤリティとは特許権、商標権、著作権の使用料のこと

答 むかわ町の活性化推進に寄与することとしていることから使用料は無料としており、ロイヤリティはありません。

問 「むかわ竜」は商標登録されていますが、グッズ販売等へのロイヤリティは現在どのようになっていますか。

答 発掘の段階から国内は勿論アメリカ・カナダ・モンゴルなどの古生物学者の視察があり、むかわ竜が日本の恐竜化石の代表として取り上げられたものと考えています。



あづま
東 千吉 議員
AZUMA CHIYOSHI

答 暑さ対策としては、カーテンを使用し日差しを防ぎ、各教室の窓を開放して風通しを良くします。

問 学校教育環境の暑さ対策の現状と今後は。

答 定住人口について、特色ある具体策を組めないか。また、住宅確保のため、空き家対策と公営住宅等の現況はどうなっていますか。また、率先垂範と定住の促進のPRのトップセールスを行うことで、町民みなが定住について、考えいくことにつながるのでは。住定住について、考えをはかります。

問 移住定住施策として、住みたくなるまちの創造の実現に努めます。

答 空き家対策では、活用推進民間支援組織の構築モデル事業を、北海道市町村の中で2例目として国土交通省の採択を受けて進めます。

問 100%当麻産の木材でつくった当麻町の木造戸舎の記事が載っていたが、わが町の被災木の利用と林業支援としての町行政の取り組みは。

答 森林所有者の経費負担軽減のため、作業道の復旧は町がやります。被災木は、製紙用チップとバイオマス発電燃料がほとんどとんどで、今後大量の被災木が発生するとは想定されていません。



かわいいね～

学校及び公共施設の暑さ対策は

カーテンで日差しを防ぎ、風通しを良くする

率先垂範とトップセールスで特色ある具体策を

国交省の採択を受けて進めます

被災木の活用と林業支援を

バイオマス発電燃料がほとんど

墓じまい・修理の支援を

支援については考えていません

【問】 昨年の9月6日の地震

で多くの墓石が破壊しました。墓じまいした件数を教えてください。

また、年金で生活している人、低所得者にとつては大変苦慮しています。

安平町では見舞金として5万円が支給されると聞いています。

義援金等で支援する考えはありませんか。

【答】 墓じまいの件数は震災以後前年度末で、鵠川地区79件、穂別地区25件の104件です。

令和元年度8月末日まで件の65件です。

修理についての支援は考えていません。



もりよ よしひさ
舞良 喜久 議員

MORIYO YOSHIHISA

自動車免許証の返納に支援を

町民の声を聞いて運用していきます

【問】 免許証の返納が遅れて事故を起こした例が全国的にも知られています。返納

が出来ないのは、買い物・病院・レジャー等へ行く足の確保の心配が一番あると言われています。

町として、返納後の支援

として、バス・ハイヤー等の優遇措置がないか、今後、町民の足の確保をどのようにきめ細かくやって行く考えですか。

バスの予約、ルート、時

間帯についても町民の声を聞きながら、弾力的に運用を行っていきたいと考えています。

【答】 免許証を自主返納され

た方は、平成29年度は鵠川地区8件、穂別地区3件。平成30年度鵠川地区のみ8件、令和元年度8月末日まで、鵠川地区5件、穂別地区1件です。

町として交通安全推進協

議会が行っている支援事業として返納された方に、身分証明書の代わりとなる運転経歴証明書手数料と、顔写真代相当分として2,000円の町金券交付事業を行っています。

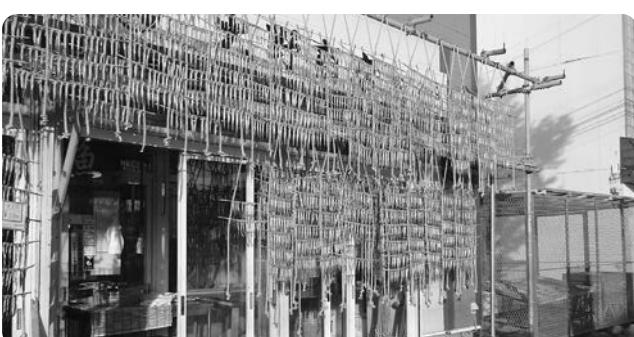
町民の足の確保は、障がい者と65歳以上は1回100円としています。

バスの予約、ルート、時間帯についても町民の声を聞きながら、弾力的に運用を行っていきたいと考えています。

「この町で暮らしたい」の願いに 応える町の復興を 一番に優先すべきはなにかを ともに考えていきたい



きたむら
北村 修 議員
KITAMURA OSAMU



秋の風物詩

問 震災から1年が経過しての思いは。
大事ではないか。

答 生活再建の真っただ中で、不安もある厳しい中ですが、まずは復興計画の具体化、加速化をベースにしながら、生活再建を優先に一日も早い日常生活を取り戻すために全力をつくします。

問 大事ではないか。
大事ではないか。

答 住み続けられるために、町民の方と向き合い、今、一番優先しなければならないことは何かをとらえていきたい。

答 住まいの問題では、その通りですが、同時に今、町に借家もない。古い公住宅などの再活用をすべきではあります。

問 生活支援で心のケア対策などの訪問状況は。

答 穂別から始まり、鵠川地区で1,000件ほど残すところまできました。出されている課題で、多いのが住宅問題。

答 「ちょっととしたところが順番が来ない」などです。直せない」「業者に頼んでも2番目は、「心のケアでちょっととした揺れに敏感」などです。

問 空地が目立つまちなか再生事業として、だれでも気軽に活用できるコミュニティ施設の配置で、企業起こしにもつながる対策を。

問 被災の内容も思いもいりいろいろだが、災害を乗り越えての思いは一つになれる。何よりも「この街で暮らしたい」この願いに応えることではないか。

答 民間の賃貸住宅の支援の取り組み、既存のリフォーム助成等のアピール、古い公住活用もできるか検討していきます。

答 まちなか再生事業とれば商工業が中心との位置づけと思われますが、指摘のように町民の方、まさに暮らしの生活の中心とした立場でコミュニケーション活動の拠点とした位置づけて進めます。

問 交付税の活用状況は。特別交付税が増額され、様々な財源として活用できることではあります。

答 特別交付税で14億円ほど増で、3億余は災害関連で活用です。他に10億円があります。

議会報告会

7月19日（穂別地区）、22日（鶴川地区）において「むかわ町復興計画」策定に係る町民との懇談会における主な意見及び要望について行政、議会対応について回答します。

行政への要望

① パブリックコメントは、同手法が利用できない方は意見反映できず町民との乖離が見られるが。

② 生活再建支援では多くの町民が抱える一部損壊住宅への具体策が見えない。低所得者層に配慮した対応の検討を。

③ 総合防災庁舎等の整備は示されたが、津波浸水地域には公営住宅、福祉施設など多数存在することからその対応は。

④ 自治会、町内会への義援金配分について具体的な使途等を提示してほしい。

⑤ 被災施設の解体等が実施できていない町民がいるとも聞くので今後の対応は。

⑥ 人口が減少する中で、希望が見えるまちとして「雇用を生み出す」政策を。

⑦ 仮設住宅の再利用、及び仮設店舗の期間経過後の方向性を示してほしい。

⑧ 行政からの情報発信に関して、自治会、町内会等との連携により徹底してほしい。

⑨ 冬期間の断水における雑用水の貯水機能の対策を検討してほしい。

回答

まちづくり基本条例の手続きに基づいたほか、計画書の役場窓口備え付け、UHB 地デジ広報及び情報端末（穂別地区）の利用により周知を行い、意見を求めたほか、仮設住宅、見なし仮設住宅にお住まいの方々への説明を実施してきました。

被災された半壊以上の建物については、公費解体を進めています。一部損壊の建物については、町費による「被災住宅応急修理費補助金」制度を創設し対応しています。公営住宅については低所得者層に配慮した整備です。

津波浸水区域における施設については、今後における施策の検討課題とします。

地域における防災あるいはコミュニティの強化といった視点で話し合い、地域での有益な活用をお願いします。

解体申請された被災建物については、9月を目途に完了する見込みです。

現行の地方創生総合戦略の検証を行い、今後策定する新たな計画に反映していきます。

仮設住宅、仮設店舗の活用については「応急仮設住宅等の活用に向けた調査、研究」に位置付けています。

今後も自治会、町内会との連携とともに、計画に位置付けた「災害情報伝達手段の高度化に向けた調査、研究」を進めていきます。

今後の防災計画の見直しの中で断水時における給水計画を検討していきます。

⑩ 神社、仏閣は地域住民の交流の場としての機能も果たすことから、復旧に向けた支援について国及び北海道に要望してほしい。

政教分離の観点から神社、仏閣に対する直接的な支援は出来ないとされていますが、地域コミュニティのあり方や文化財施設の指定等も含めて、慎重に検討していきます。

⑪ 復興のシンボルとして恐竜ワールド構想を推進してほしい。

復興に向けた取り組みに「関係・関心・交流人口の拡大」として「恐竜ワールド構想の推進」を具体的に取り組んでいきます。

議会への要望

① 災害での議会対応は。

回答

災害対策支援本部の設置で対応しています。

② 議会としてのパブリックコメントの状況把握は。

町民懇談会時には公表されていませんが、現在はホームページに回答を含め掲載しています。

③ 行政におけるパブコメと議会の懇談会という重複に対して疑問があるが。

未曾有の災害に議会として町民の意見をきめこまやかに聞き取り意見反映のために実施しました。

④ 議員個々の活動の中で行政に対する意見反映を。

議員の日常活動の中で応えていきます。

⑤ 議員の議決状況を議会だよりに掲載しては。

可能性について議論していきます。

⑥ 議会として前向きな意見の取りまとめを。

今後も町民との意見反映に努めます。

⑦ 議員として「どうだったか」「どうしなければならないか」を見極めた活動を。

今後も町民に寄り添った活動をしていきます。

⑧ まちづくりに向けての議論は必要であり継続を。

出前議会等の開催で対応します。

⑨ 議会としての決定権、まちづくりとしての決定権は。

まちづくり計画に関しては、まちづくり基本条例で議決を要するとされています。

⑩ 議会としての復興へのビジョンを示してほしい。

胆振東部地震復旧復興調査特別委員会で調査をしていきます。

委員会報告

総務厚生常任委員会

課題を共有・今後に

【調査日】令和元年8月27日

所管課より次の調査項目の説明を受け、現地調査の実施・質疑応答の後、意見を取りまとめました。

特別養護老人ホームの災害後の現状と課題

◆現状

慶寿苑、愛誠園へ視察を行い、施設の被災前の現状回復での復旧は、予定どおり進捗していることを机上、現場を確認し意見交換を行いました。

慶寿苑では、復旧事業費、

約4,872万円。

国の災害復旧補助金で約3,700万円と法人資金で復旧を終えていることを確認しました。

愛誠園では、復旧事業費、

約3,540万円。

国の災害復旧補助金で約2,600万円と法人資金で復旧を終えていることを同様に確認しました。

現場視察後、それぞれの役員、施設長と意見交換を行い、両施設を視察後に、委員間で意見交換し課題を共有しました。



楽しいひととき

ね、運営していくが、社会情勢の変化などで町の協力が必要な場合も想定される。（人口減少対策の一助としても）。

●町として介護従事者への特別支援で人材確保を希望する（人口減少対策の一助としても）。

◆介護職員の人材確保の課題について

●自助努力で人材確保に努めているが、応募者も無く、自助努力だけでは解決は困難。

●人材不足により利用者の受入が制限され、稼働率は慶寿苑約80%、愛誠園約70%

%での運営となっている。

●介護従事者への奨学金制度（5年就労で免除）の拡充。

●介護従事者の移住時の特別支援制度や、子育て支援環境（住宅支援）の制度の拡充。

●愛誠園では、福祉避難所の役割も検討予定。

委員会報告

経済文教常任委員会

災害復旧を1日も早く！

【調査日】令和元年8月19日、9月2日

所管課より次の調査項目の説明を受け、現地調査の実施・質疑応答の後、意見を取りまとめました。

災害後の農業復旧と農業振興について

◆農業振興について

農業施設の復旧は、経営体育成支援事業の活用、軽微なものは町単独支援事業などで當農継続に向け進められていることが報告された。

◆農林水産業の振興について

復興計画でも当面、復旧を中心 posicionづけられていることを確認した。

◎主な意見

農業などの高齢化、後継者不足などから持続的農業などをめざし、担い手対策の強化、支援に一層の取り組みが必要。鹿対策などに早急な取り組みが必要。

住宅対策と空き家対策、災害に関する住宅状況について

住宅対策と空き家対策、災害に関する住宅状況について

空家等対策計画が6月に作成されていることから計画内容について説明を受けた。

町内の空家状況は、4月末現在の調査で311戸が確認されている。

しかし空家の多くがそのまま放置されている状態であり、不動産として対応する状況ではなく、今後の賃貸、売買などに資する具体的な対応が必要。

公営住宅等の現況及び復興計画における住宅対策について

●町内の公営住宅の最近の実態について説明聴取、画面内容について説明を受けた。

計画の見直し、政策空家とした内容の説明を求めた。その後、政策空家の実態を現地調査した。

◎主な意見

・政策空き家とした公営住宅は、建設が昭和40年代から50年代と老朽化が激しいことから、早い段階の取り壊しが必要と意見が出された。

しかし、被災者や若者の収入に見合った住宅の需要は大きく、公営住宅以外の公益住宅の未使用住宅の活用、また、地域によつては、公営住宅の老朽化の中でも活用できるとみられるものの臨時の対応などの検討が願われており、対応・検討が望まれる。



現地調査

特別委員会(中間)報告

胆振東部地震復旧復興調査特別委員会

【調査日】令和元年7月3日、29日、8月8日

7月29日所管課より説明を受け、8月8日質疑応答の後、意見を取りまとめました。

むかわ町復興計画について

◆第3回委員会

「復興計画（原案）」について説明を受け質疑、その中で今回の計画原案を議会特別委員会等の意見を受けた後に、検証し「復興計画」として7月末に確定したい旨の説明を受けた。その後、意見交換を行った。

議員から「かつて経験のない事態であり、計画策定にあたっては、今後のまちづくり計画にも関わることから、多くの町民の意見を反映されるものに」との意見があり、議会特別委員会としても何らかの対応をすることとした。

対応について、議会運営委員会の協議のもと、「議会報告会」を兼ねた「議会と町民との懇談会」が計画され、7月19日に穂別町民



多くの町民が参加

その内容を11項目（別紙14・15ページ）にまとめ、議長名で町長に要請。

センター、22日に町産業会館で議会報告会として、復興計画にかかる「町民と議会」の懇談会を開催。

両会場合わせて40名を超える町民の出席となり、積極的でかつ建設的な意見が出された。

◆第4回委員会

原案を検証した「復興計画（案）」について内容の説明、報告を受けた。

計画内容が当日配付であることと、時間的な関係で質疑を大体論にとどめ、詳細な質疑は次回の委員会で細な質疑は次回の委員会でとした。

◆第5回委員会

計画の実施への具体的対応策などで多くの質疑がされ、意見が出された。

「計画の実施方向の具体的な内容が見えない」などの意見には、「多くは走りながらの実施計画」であること、さらに、第1期から第3期の計画の中で年度ごとや期ごとに検証し、修正、補充等を含めた中で実施したい旨の答弁があつた。



表紙の写真

議会事務局からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

ほべつ通学合宿。
空き時間に好きな本を選ぶ子どもたち。